



無電柱化を実施した事業の概要

- 所在地：長野県御代田町
- 用途：住宅宅地（戸数：100）
- 事業面積：51,406㎡
- 整備方式：要請者負担方式
- 無電柱化工法：管路直接埋設構造
- 無電柱化路線：延長410.2m、幅員10m等
（計3路線エリア全体で無電柱化）
- 適用した補助制度：無電柱化まちづくり促進



イメージパース(現在工事中)

実務担当者の声



株式会社大建
代表取締役社長
増田裕一郎さん

ご担当内容：プロジェクトの
グランドデザイン・街づくり
構想・プロジェクト
チームリーダー

Q1

無電柱化を実施することになった背景を教えてください。

御代田町庁舎跡地売却のプロポーザルの要件に究極的な住環境の提案が盛り込まれており、弊社が提案するコンセプト「御代田町の100年の計」の考え方から、美しい浅間山そして八ヶ岳の稜線・高原都市ならではの星空をこの先も安心して楽しむことから、無電柱化はマストと考え、採用いたしました。

Q2

事業を進める中で課題となった点や、その解決策について教えてください。

やはり無電柱化に関わるコストが最大の課題になります。また、それに伴う工事会社が少なく、入札に参加できる企業も限られました。コストについては、無電柱化まちづくり促進事業の補助制度を活用しました。工事会社については、こちらから調査・声かけをして何とか入札することが出来ました。

Q3

無電柱化に関する補助制度を活用した感想を教えてください。

地方における予算確保が厳しいのか、分かりませんが、当初の補助金額から下回った形になりました。また、限られた時間の中で、行政との連携をしながら補助制度に従っていくには、実績のある無電柱化工事設計会社に設計はもちろん、申請コンサルをお願いしなければ見通しが立ちませんでした。

Q4

無電柱化の実施によって感じた効果について教えてください。

現在、2027年春完成を目指して工事中ですが、無電柱化によって道路線形から景観を最大限活かす街づくりが可能となります。併せて、災害レジリンス・安全安心な住環境の構築・資産価値につながる投資をして地方再生モデルとして十分な効果を発揮しています。